

3 遺跡の地層

大きく 6 層に分けられます。ただし、調査区は昭和 55 年ころまで畑として利用されており、北側を除いて耕作による擾乱が多く見られました。

I 層 10~20cm 暗褐色シルト。表土層です。多くはかつての畑耕作土です。

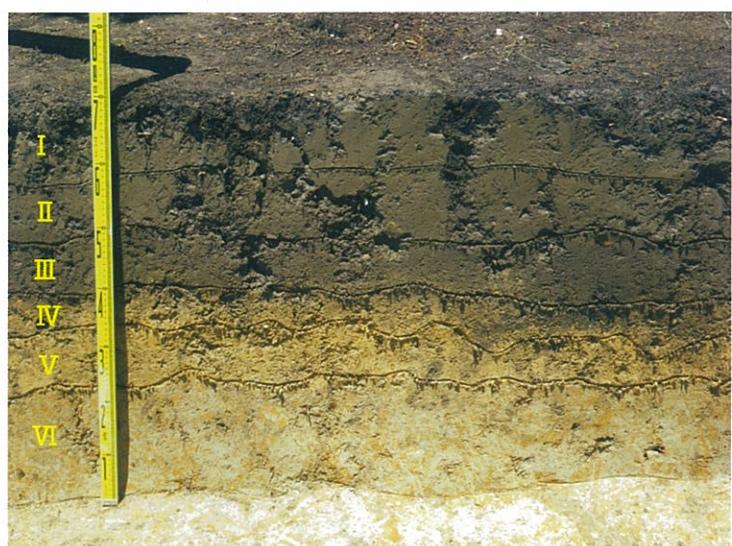
II 層 10~15cm 暗褐色シルト。古代～中世の遺物包含層と考えられます。

III 層 5~15cm 黒褐色シルト。古墳時代の遺物が見られます。

IV 層 5~10cm 褐色シルト～粘土。地山漸移層です。

V 層 10~20cm 黄褐色シルト～粘土。無遺物層（地山）です。

VI 層 20cm～ にぶい黄橙色砂質シルト。無遺物層（地山）です。



23K グリッド付近の地層（南から）

4 遺構

これまでの調査で掘立柱建物、井戸、溝（堀）、土坑、ピットなどが見つかりました。これらは古墳時代、中世（鎌倉時代）のものです。遺構の時代は、土器や埋まった土などから決定しました。

古墳時代

土坑 1 基と遺物集中地点が 2 か所見つかりました。

108 号土坑 北西部の 1E 区で見つかった径 1m、深さ 15cm 程の深い穴です。遺物は出土しませんが、埋まった土から古墳時代に掘られた穴と考えました。

遺物集中地点 北西部の 1E・2F 区の自然の落ち込みから土器が集中して出土しました。北側の調査区外から廃棄されたものです。

遺構・遺物の状況から古墳時代の集落の縁辺部と思われます。



古墳時代：遺物出土状況（南から）



108 号土坑：土層断面（南から）